

## 勤労者の健康診断データを用いた運動器疾患の横断的・縦断的な疫学調査

-ロコモティブシンドローム予防のための勤労者世代からの転倒リスク解析-

# 研究ご協力のお願い

## ドック受診の皆さまへ

当施設では、勤労者の健康診断データを用いた運動器疾患の横断的・縦断的な疫学調査-ロコモティブシンドローム予防のための勤労者世代からの転倒リスク解析-に参画しています。本研究の目的は、勤労者の健康診断データを用いて運動器疾患の疫学調査を横断的・縦断的に行い、勤労者における労働年齢の上昇が、運動器疾患発症率や転倒リスクの上昇に関与しているか否かを明らかにすることです。運動器疾患は、その病態の進行により、運動機能低下に直結することが多く、勤労者における運動器疾患の実態調査は、労働者の健康維持や労働災害防止に繋がることが期待されます。研究参加について皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【研究概要】

#### 研究デザイン

本研究は、勤労者（健常者）を対象とし、運動器疾患の横断的・縦断的な疫学調査を目的とした後向き観察研究です。

#### 研究の具体的方法

健康診断の問診、健診結果をもとに以下の項目を評価します。

性別/年齢/身長/体重、喫煙歴/飲酒歴/生活習慣の良否/運動習慣の有無

人間ドックでの胸腹部CT画像（肺における気腫化や線維化の程度、筋や皮下・内臓脂肪の断面積、椎体の骨密度、椎体骨折、後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、強直性脊椎骨増殖症、強直性脊椎炎など）

採血（低アルブミン血症、血糖値、貧血、肝機能障害、腎機能障害など）

労働災害の有無（腰痛、転倒、転落など）

上記データに関しまして、個人が特定されることはなく、全て集団で統計処理されます。

もし、ご自身のデータを使用してほしい方は受付までお申し出頂ければと思います。

どうぞ宜しくお願いいたします。

お問い合わせ： 日立製作所 日立健康管理センタ

担当医師：中川 徹

電話 0294-34-1020 PHS 070-6971-7865

E-mail: tohru.nakagawa.rh@hitachi.com